

# とこは未来教育推進助成事業（令和5年度採択事業）

## 事業成果報告会 実施報告書

- 開催日時： 令和6年7月10日（水） 15時10分～16時40分
- 会場： 常葉大学静岡草薙キャンパス A201（※Zoom同時配信によりハイブリッド形式）
- 参加者： 62名
- 事業趣旨： 「とこは未来教育推進助成事業」とは、更なる基盤の構築を目指し、学部や学科の特色ある教育の強化や個別最適化に適した学びを推進するための経費支援制度である。本事業を通じて、学生の満足度を高める魅力的な大学づくりを推進する。
- 事業報告：

NO	事業名	事業代表者（発表者）	事業の概要
1	国際派社会人育成プログラム： beyond the boundaries	グローバルコミュニケーション学科 学科長：谷 誠二 教授 (発表者：同)	1・2年生を主な対象とした<First Step>と2・3年生を主なターゲットにした<Second Step>からなる2段階の国際派社会人育成プログラムである。 <First Step>：1・2年生を対象に学内で学修した内容を「臨地実習C（海外）」を通して深化させる。<Second Step>：2・3年生を対象に<First Step>からの継続的な効果を得るように、語学研修の参加支援、語学検定試験合格者への受験料補助（上級級合格者に対して）を行う。
2	デジタルクリエイティブオンライン講座推進事業	造形学部 学部長：土屋和男 教授 (発表者：土屋学部長、洞口講師)	3DCG、映像、Webプログラムなどに代表される高度なデジタルクリエイティブ教育について、デジタルハリウッド株式会社（本社東京）によるオンライン講座「デジハリオンラインスクール」を造形学部の教育と連携して3年間開講する。事業終了時までに成果を検証し、十分と判断できる場合は正課での実現を検討する。受講生は年間で60時間から90時間の内容を自宅で視聴して制作を行い、同講座の講師からの添削や講評を受けるとともに、学部教員による技術習得度合いの確認を受ける。
3	デジタルトランスフォーメーション（DX）による 個別教育の推進と学修成果の可視化実現	静岡理学療法学科 学科長：佐藤友紀 教授 (発表者：同)	興味・関心を持たせる授業の展開に加え、個々の学生の状況に合わせた学修支援を開発し初年次教育を改革する。これらは本学科が課題及びその原因として挙げている「学業不振による退学」に対する取り組みとなる。 DX導入との活用は、「学びの質の向上」、「学修者本位の教育の実現」に資するための取り組みとなり、学修成果の可視化を実現するものとなる。
4	保育者養成課程における 実践力向上を目指した教育支援体制の整備と補完 - こども健康学科の教育的柱としての 自然教育プロジェクトの提案 -	こども健康学科 学科長 高 向山 教授 (発表者：木山教授)	本事業は、こども健康学科の新たな教育の特色として、自然教育を教育の柱とした豊かな人間性と保育実践力を備えた専門職の育成を目指すプロジェクトである。このプロジェクトでは、1年生から4年間かけて全学共通科目や専門教育科目での学びを、都田の自然のなかで子どもたちや地域の方々との活動と連動させながら、各学年で段階的に人や自然を慈しみ守る心と保育実践力を高めていく教育を体系的に行う。
5	ICTを活用した個別最適化教育による 教育の質的向上を目指す事業	保健医療学部 学部長 矢澤 生 教授 (発表者：矢澤学部長、縣准教授)	本事業は個別最適化教育を導入し、保健医療学部における教育の質的向上を目指す事業の展開を目的とし、令和5年度は①入学当初に実施する基礎的学習スキル教育、②eポートフォリオの構築、③定期的な学修到達度チェック、④個々の学生に合ったフィードバック、によるアプローチから事業を実施した。

## 6. アンケート集計結果

---



# アンケート回答数

---

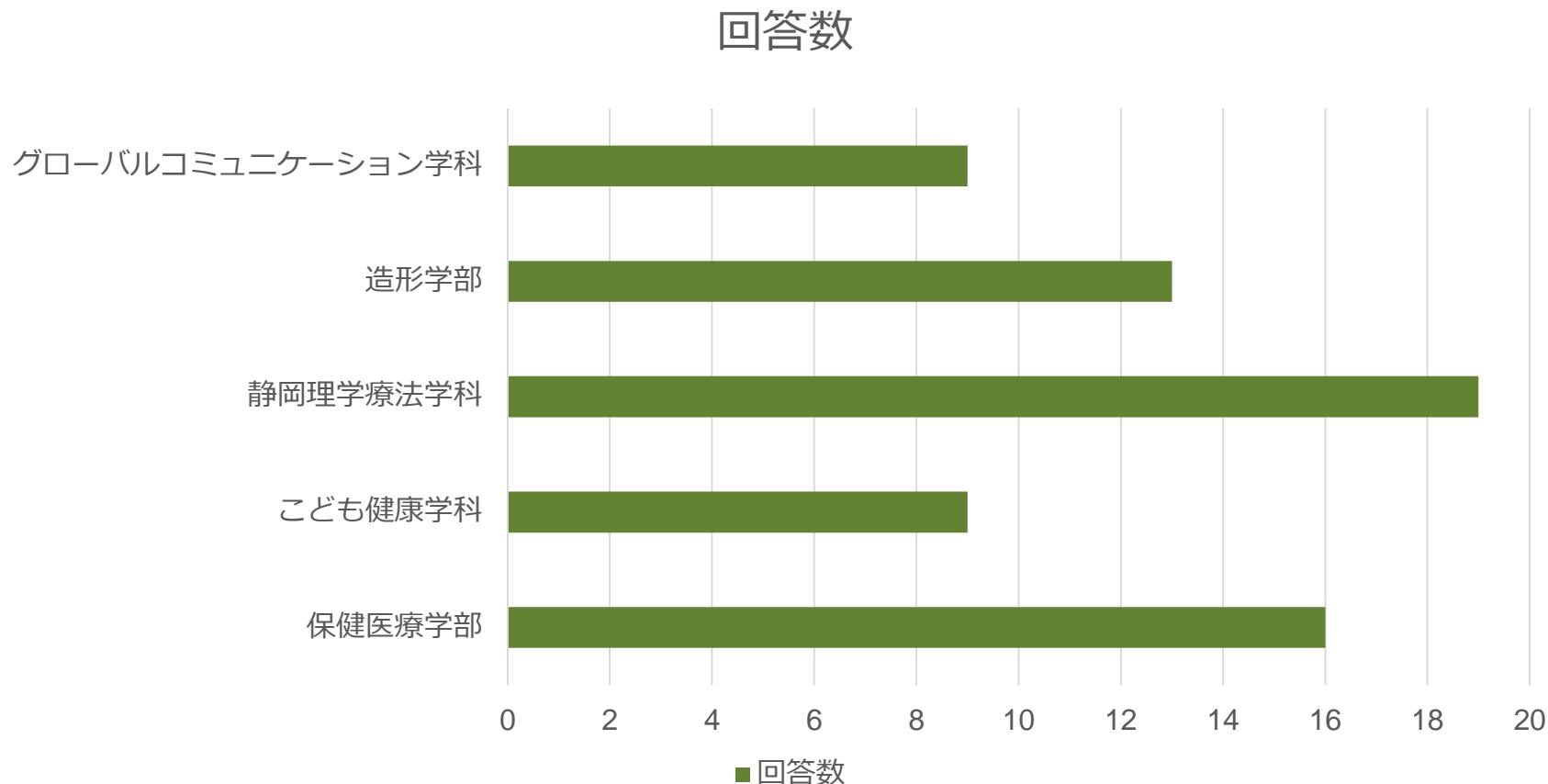
アンケート回答数：29  
(報告会参加者：62)



TOKOHA UNIV.

1) 事業成果報告会を聞いて、良い取り組みであると評価する事業を選択してください。  
(複数回答可)

---



## 2) 1) で選択した理由があればご記入ください。

事業名	理由
【グローバルコミュニケーション学科】 国際派社会人育成プログラム : beyond the boundaries	留学等支援については、学生の活動を後押しするものとして非常に良いと感じた。
【造形学部】 デジタルクリエイティブオンライン講座推進事業	学生への事前説明から成果報告まで、実施内容が明確であり、1年目の課題を改善した計画となっている。
【静岡理学療法学科】 デジタルトランスフォーメーション（DX）による個別教育の推進と学修成果の可視化実現	初学者にとって難解な「解剖学」が、立体(3D)を使用することで興味をもって理解を深めることができる。
【こども健康学科】 保育者養成課程における実践力向上を目指した教育支援体制の整備と補完	どの取り組みも学生の実践の場・機会となっており、様々な経験を積むことで、専門的なスキルの習得につながる。
【保健医療学部】 ICTを活用した個別最適化教育による教育の質的向上を目指す事業	個別最適化を主題にICTや学科状況を踏まえて、多角的且つ的確に推進する意図が明白であり、継続的に実施することで学部のみならず、全学的な波及効果も期待できる。



### 3) 各事業への質問・ご意見等があればご記入ください。

---

事業名	質問・意見等
【静岡理学療法学科】 デジタルトランスフォーメーション（DX）による個別教育の推進と学修成果の可視化実現	令和5年度における取組が1科目のみだったが、今後は、他科目へどのように発展させていく計画なのか？
【こども健康学科】 保育者養成課程における実践力向上を目指した教育支援体制の整備と補完	本事業における取組を、今後、体系化した正規のカリキュラムとして整備・構築していく計画はあるか？また、新キャンパスへの移転も予定していることから、本事業の取組や成果等を、どのように新キャンパスにおいて発展等させていくか？



## 4) 今後本事業に期待することがあればご記入ください。

---

- ・学部・学科、大学全体の教育が向上するような事業を推進してほしい。
- ・発展的に継続することを望む。
- ・2年前から課題は変化している。今後の常葉大学の教育のあり方を再点検して、教育の質、より高きを目指す大学にしていくのが正道である。
- ・本事業を通して得たスキルなどが、就職活動での「強み」になることが期待出来れば、より活発になっていく。
- ・学部・学科におけるアドヴァンス教育導入を個別最適化教育との関係で申請する事業が増えることを期待する。
- ・他県からも学生が集まる魅力ある学部学科づくりに本事業は重要である。
- ・本学の特徴的な学びのひとつになることを期待する。
- ・高校生や中学生とコラボできる事業があれば一緒に取り組ませたい。



TOKOHA UNIV.

